

# 決算説明資料

2022年3月期 期末決算

2021/04~2022/03

**TACHI-S CO.,LTD.**

2022年5月27日

 **TACHI-S**



商 号：株式会社 タチエス  
本 社：東京都昭島市松原町 3 - 3 - 7  
設 立：1954年4月  
資 本 金：90億40百万円  
売 上 高：2,064億円（2022年3月期 連結）  
社 員 数：11,426名（2022年3月期 連結）  
株 式：東京証券取引所 プライム市場  
事 業 内 容：自動車シート製造業

**2022年3月期の実績**

**2023年3月期の見通し**

**中期経営計画(TVE※)の進捗**

- **事業戦略**
- **財務・資本戦略**
- **コーポレートガバナンス**

**株主還元**

## 2022年3月期の実績

## 2023年3月期の見通し

## 中期経営計画(TVE※)の進捗

- 事業戦略
- 財務・資本戦略
- コーポレートガバナンス

## 株主還元

# 連結・前期比

## 前期比

単位：億円  
(億円未満切捨て)

	21/03	22/03	増減額	増減率 (%)
売上高	1,985	2,064	79	4.0
営業損益	-77	-42	35	—
経常損益	-72	-35	37	—
親会社株主に帰属する 当期純損益	-137	-20	116	—

### <22/03 決算概況>

- ◆ 売上高は、世界的な半導体供給不足による影響はあるものの、コロナ禍による影響からの回復により、受注車のモデル切り替え時期と重なった中国地域以外で、前年同期に対し増収となりました。
- ◆ 当期より収益認識基準を変更しており、前年と同基準の売上高は2,292億円と15%の増収になりました。
- ◆ 営業損益は、急激な生産調整による影響、原材料価格の高騰の影響等がありましたが、日本・中南米で昨年度から着手した構造改革活動の効果が一部出始めております。
- ◆ 当期純損益では営業損益に加え、以下の特別損益の影響により改善しました。
  - 前期認識した構造改革費用、並びに減損損失の減少により55億円
  - 当期工場再編に伴う土地の売却益、並びに投資有価証券の売却益により41億円

# 業績変化の要因 (連結)



前期比

売上高

単位：億円  
(億円未満切捨て)

( )内は収益認識基準  
の影響補正前



21/03

22/03

為替レート 21/03 USD=¥105.79 RMB=¥15.41  
22/03 USD=¥112.06 RMB=¥16.94

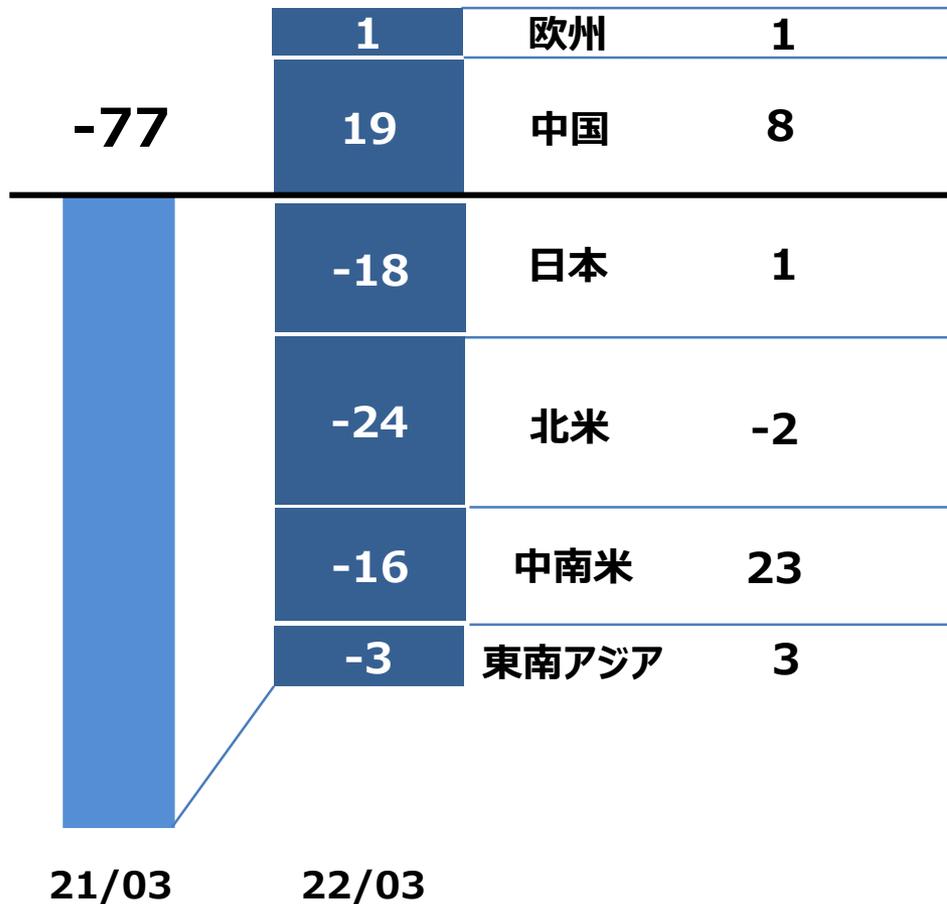
# 業績変化の要因 (連結)

単位：億円  
(億円未満切捨て)

前期比

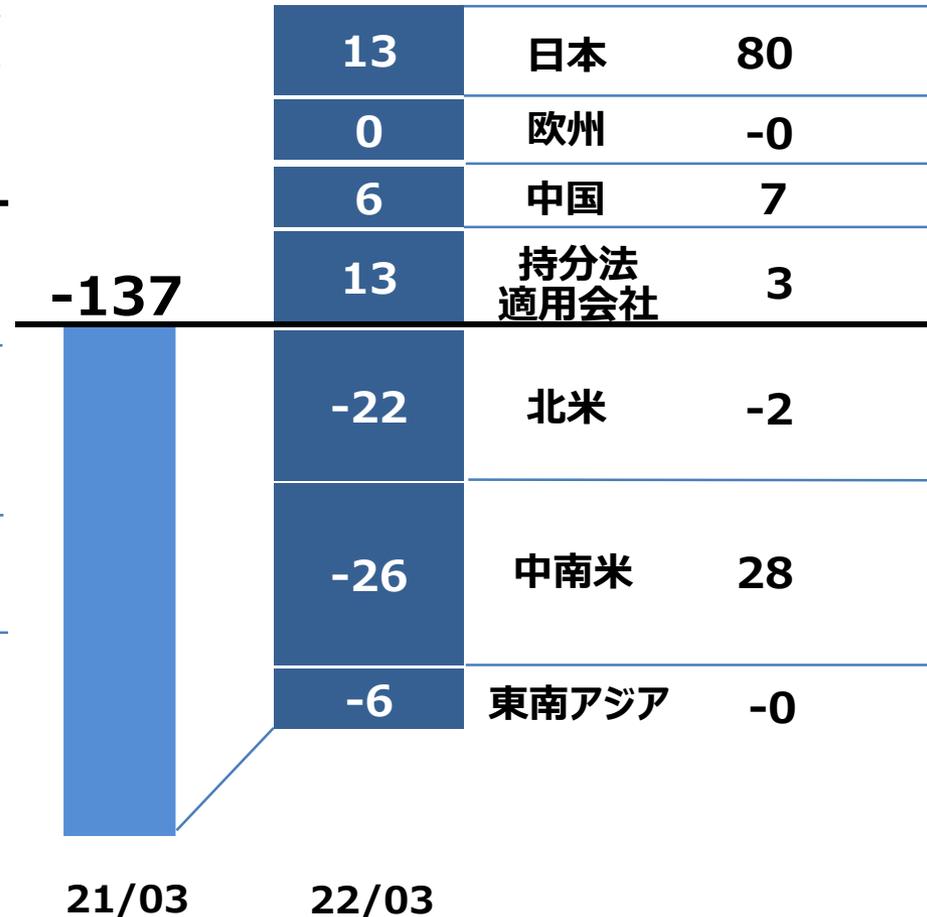
## 営業損益

-42 地域 増減額



## 親会社株主に帰属する 当期純損益

-20 地域 増減額

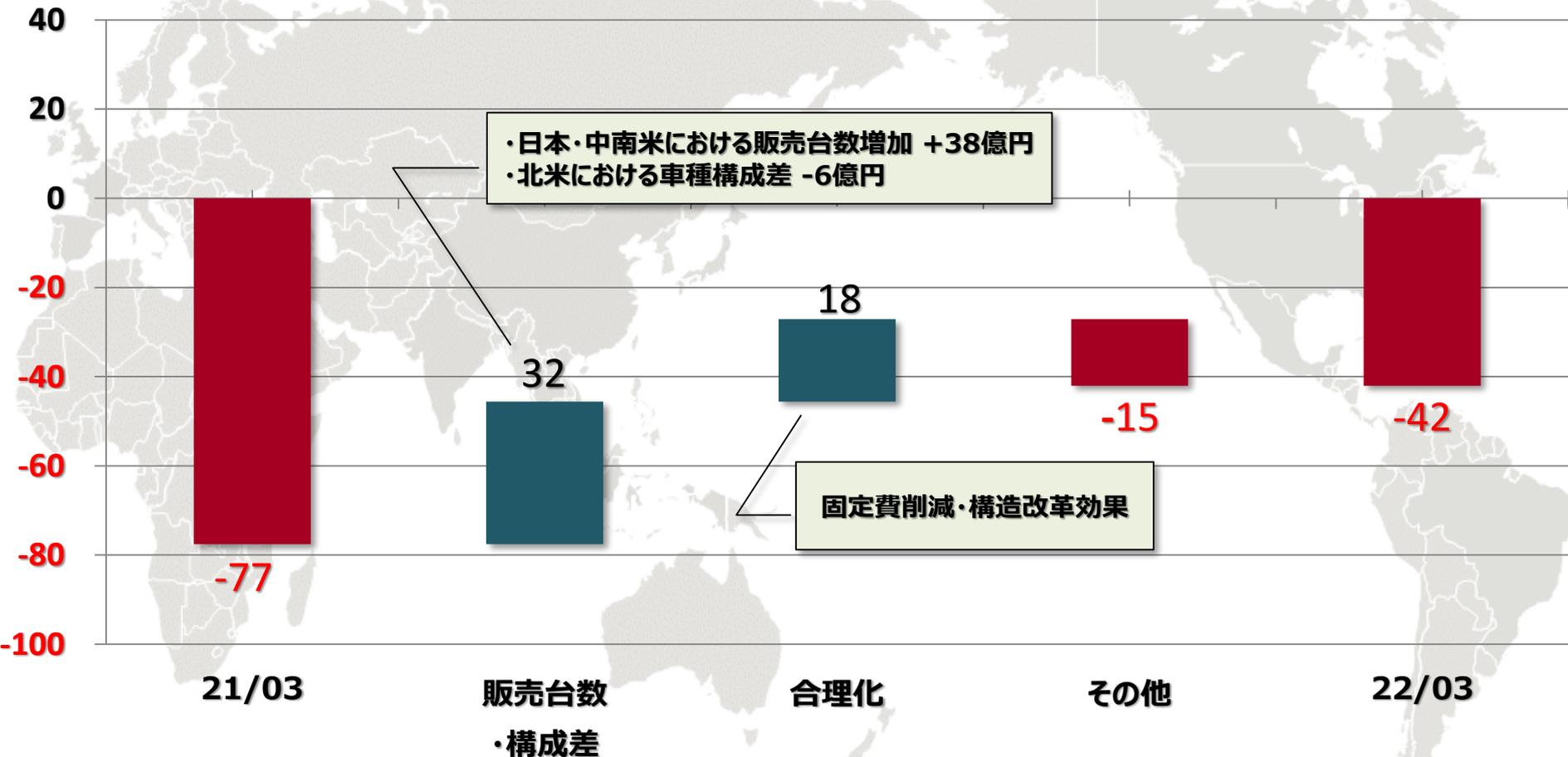


# 営業損益の増減要因（連結）

販売台数増加、構造改革効果の一部実現により営業損失を圧縮

前期比

単位：億円  
(億円未満切捨て)



## 公表値比

単位：億円  
(億円未満切捨て)

	22/03 公表値	22/03 実績					増減額
			Q1	Q2	Q3	Q4	
売上高	2,160	2,064	490	463	483	626	-95
営業損益	-21	-42	-26	-30	-13	28	-21
経常損益	-5	-35	-26	-20	-20	31	-30
親会社株主に帰属する 当期純損益	4	-20	-28	-18	11	14	-24

### <22/03 決算概況>

- ◆ 売上高は、日本及び北米において半導体供給不足等による得意先自動車メーカーでの生産調整の影響等により、当初想定よりも減収となりました。
- ◆ 営業損益は、得意先の生産変動の影響、原材料価格の高騰の影響等により、各種改善活動が追いつかず、前回予想を下回る見込みとなりました。
- ◆ 持分法適用会社(持分法投資損益)は業績が計画通りに回復しております。
- ◆ 当期純損益につきましては、投資有価証券売却を実施しましたが、上記影響により赤字となりました。

2022年3月期の実績

**2023年3月期の見通し**

中期経営計画(TVE※)の進捗

- 事業戦略
- 財務・資本戦略
- コーポレートガバナンス

株主還元

# 通期の見通し（連結）

## 前期実績比

単位：億円  
(億円未満切捨て)

	22/03	23/03	増減額	増減率 (%)
売上高	2,064	<b>2,480</b>	415	20.1
営業損益	-42	<b>12</b>	54	—
経常損益	-35	<b>20</b>	55	—
親会社株主に帰属する 当期純損益	-20	<b>2</b>	22	—

### <23/03 見通しの概況>

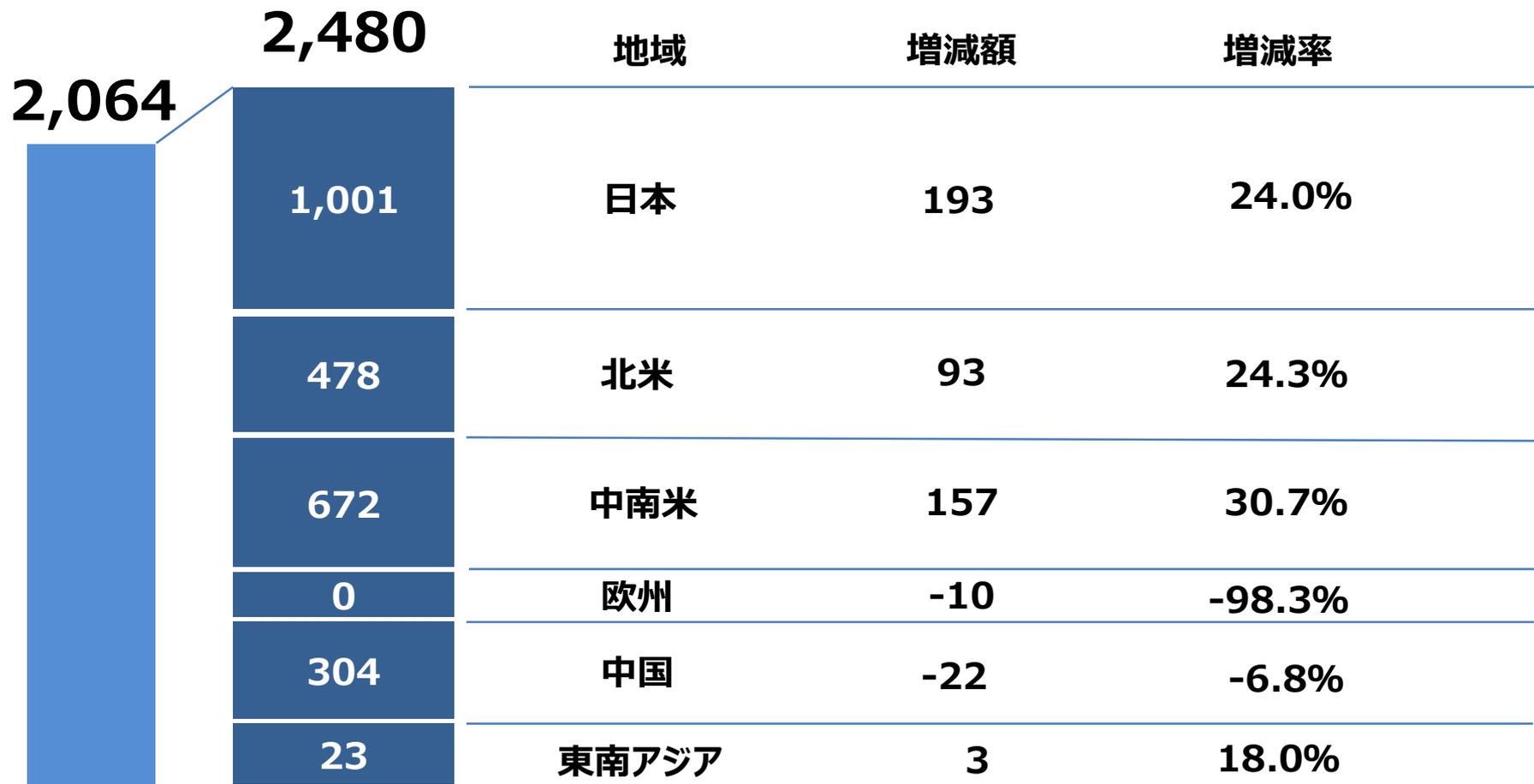
- ◆ 売上高は、上期で半導体供給不足等による影響を想定していますが、下期に向けて解消し生産が回復することを前提に前年同期に対して増収を見込んでおります。
- ◆ 営業損益は、市場の回復に加え、21年途中で立上がった車種や22年に立上がる車種の新車投入効果により増加。加えて各地域で進めている構造改革の効果も継続し、前年同期に対して黒字化する見込みです。
- ◆ 当期純損益は、日本において前期に特別利益として土地の売却益があったことにより減益となるものの、増収による利益押し上げ効果により、前年同期を上回る見込みです。

# 業績変化の要因 (連結)

前期実績比

売上高

単位：億円  
(億円未満切捨て)



22/03

23/03

為替レート

22/03  
23/03

USD=¥112.06  
USD=¥125.00

RMB=¥16.94  
RMB=¥19.00

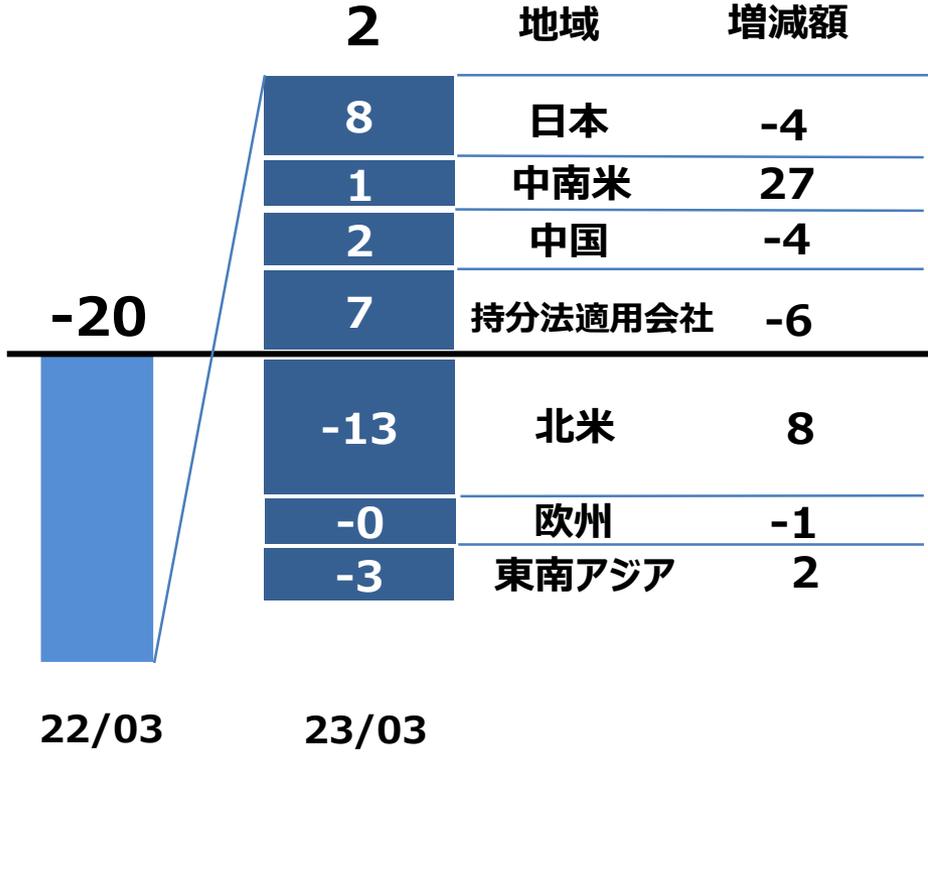
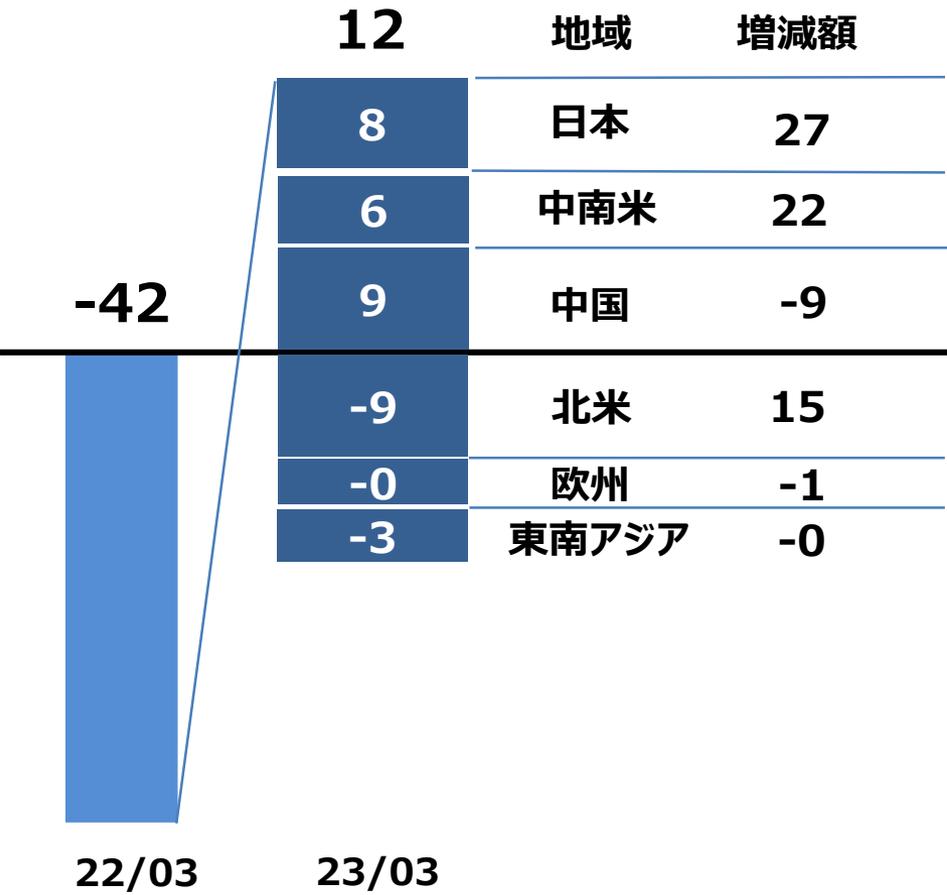
# 業績変化の要因 (連結)

単位：億円  
(億円未満切捨て)

## 前期実績比

### 営業損益

### 親会社株主に帰属する 当期純損益

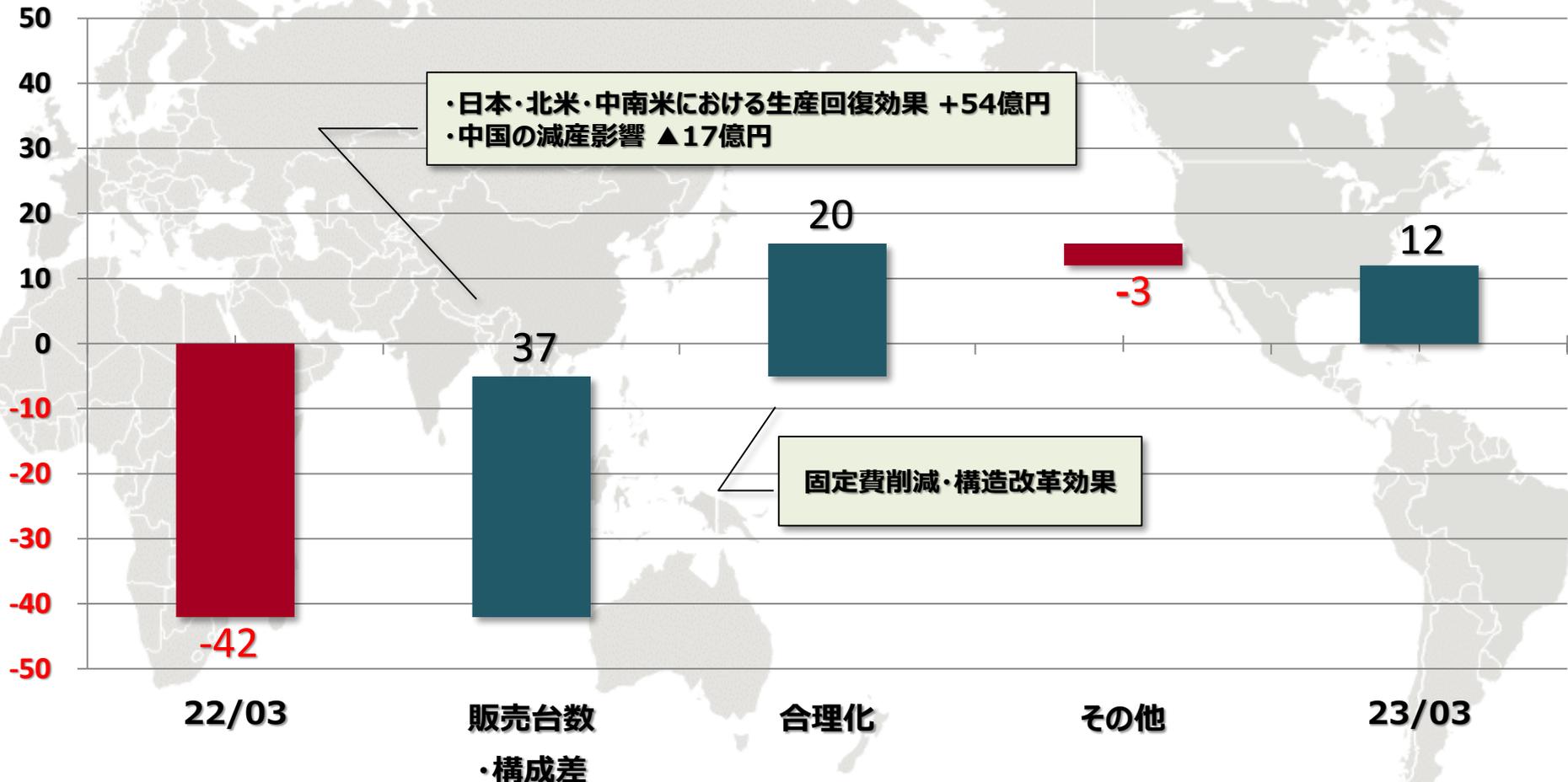


# 営業損益の増減要因（連結）

日本・北米・中南米の生産回復により営業黒字化

## 前期実績比

単位：億円  
(億円未満切捨て)



2022年3月期の実績

2023年3月期の見通し

## 中期経営計画(TVE※)の進捗

- 事業戦略
- 財務・資本戦略
- コーポレートガバナンス

株主還元

# 中期経営計画 ～事業戦略ロードマップ～

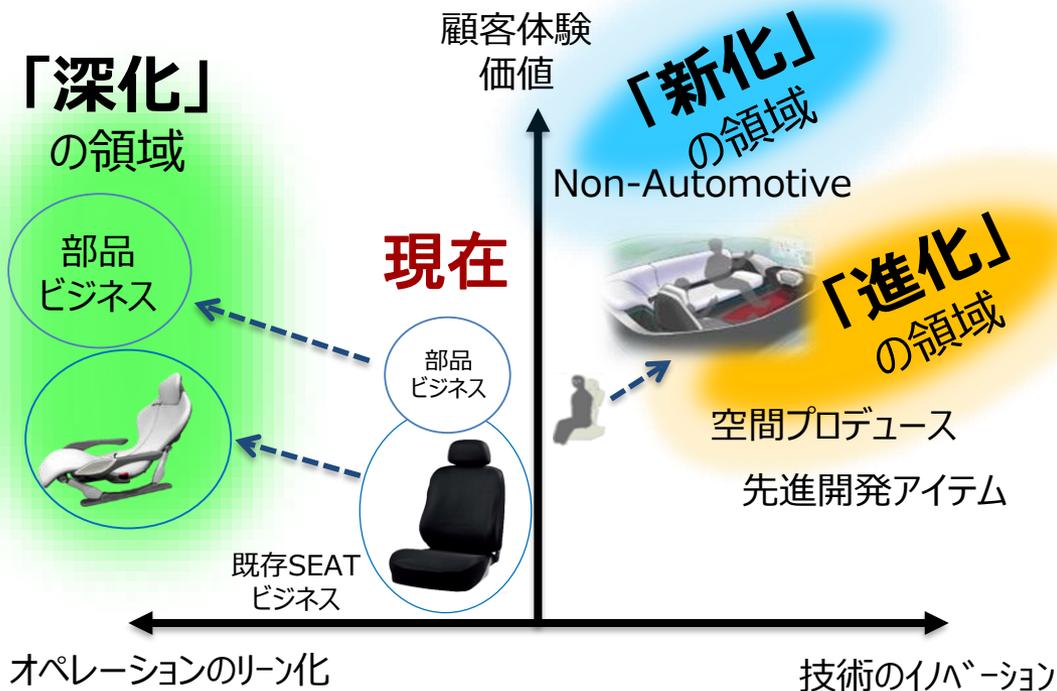


Wave0	<b>収益確保、存在意義が活動の中心 21年度-22年度</b> 1) 収益構造の改善 2) 存在意義の定着化
Wave1	<b>飛躍の準備 22年度-24年度</b> 1) 利益が確保できる企業体制づくりの構築 2) 空間プロデューサーとしての準備、Non-Automotiveビジネスの開始
Wave2	<b>飛躍&amp;両輪のビジネス 24年度-30年度</b> 1) 大変革時代の中で存在意義を体現し、大きく飛躍している 2) シートから広がり、空間プロデューサーとNon-Automotiveビジネスの両輪

# TVE 目指す姿

- ・3つの“シンカ”で事業ポートフォリオを変え、既存SEATビジネスを中心に広げていく
- ・財務目標は '24年、営業利益90~100億円、ROE8%必達、10%目標

## 事業ポートフォリオ



## 財務目標

	24年度 財務目標
営業利益	90~100億円
ROE	必達8%/目標10%
DOE	4%
売上高	2,700億円

組織営業力の強化

モノづくり競争力の強化

経営基盤の強化

(ESG含)

土台の構築

(DX含)

2022年3月期の実績

2023年3月期の見通し

## 中期経営計画(TVE※)の進捗

- 事業戦略
- 財務・資本戦略
- コーポレートガバナンス

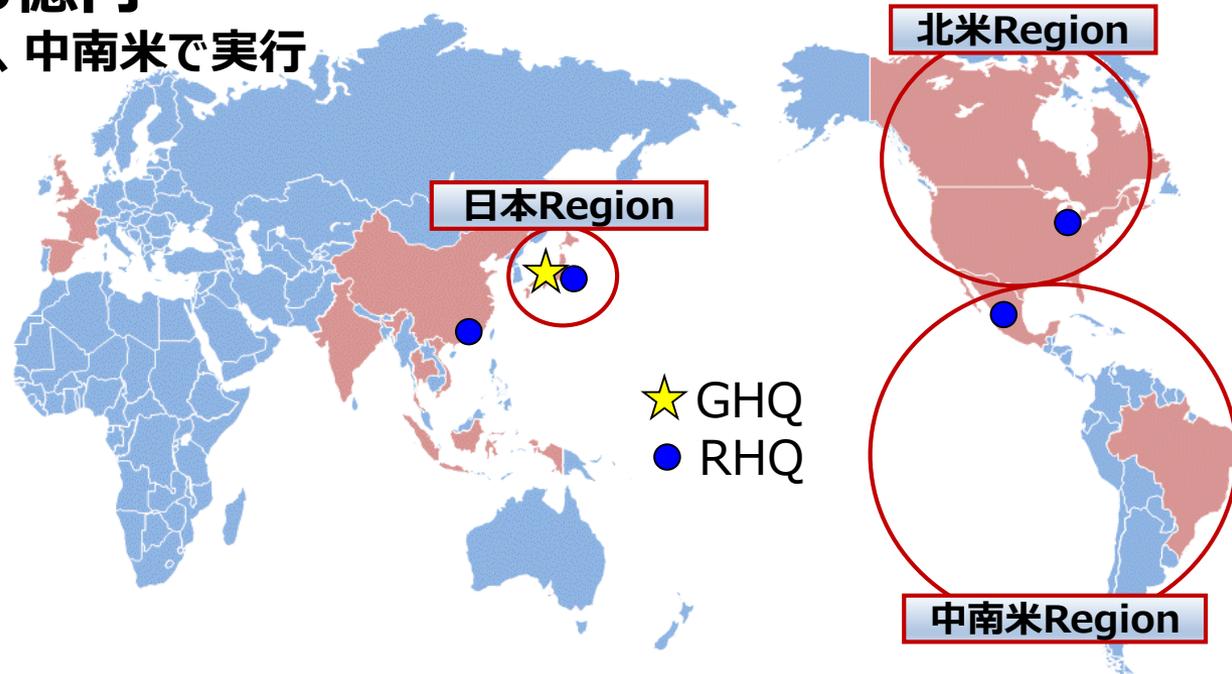
株主還元

事業のスリム化・効率化、徹底的なコスト低減をグローバルで行い、  
24年度 90～100億円の営業利益を生み出せる経営基盤に変革

## 1)収益構造の改善 40億円

スリム化・効率化を日本、北米、中南米で実行

- ①工場/事業所の再編
- ②固定費の削減
- ③物流効率化
- ④Regionにおける機能最適化

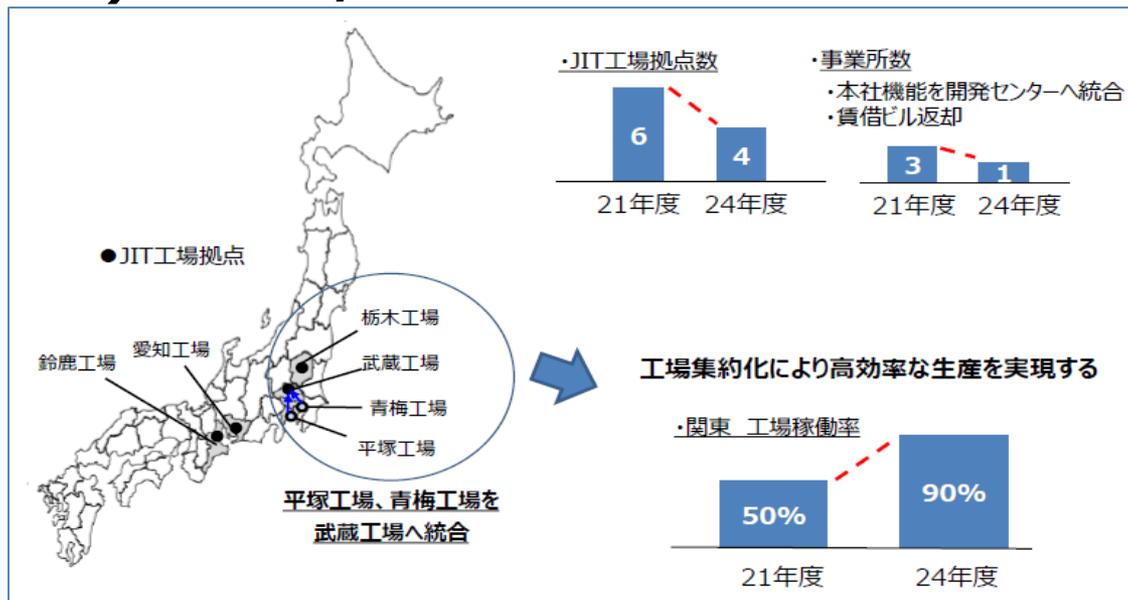


## 2)モノづくり強化によるコスト低減 55億円

- ①フレーム構造の共通化
- ②部品現地化
- ③内製化促進
- ④購入部品合理化
- ⑤工程、品質改善

## 工場・事業所再編、物流効率化を計画通り推進

### 日本1)-① 工場/事業所再編



#### JIT工場

- ・平塚工場売却を実行
- ・21年度より段階的移管を計画通り推進中

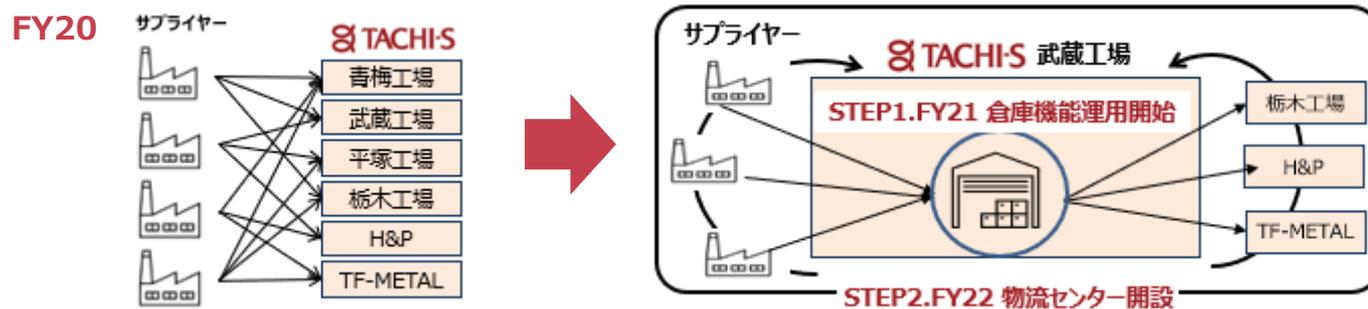
#### 事業所

- ・FY22に事業所統合（本社・開発センター）

### 日本1)-③ 物流効率化

FY21はSTEP1として武蔵工場内で倉庫機能を運用開始

FY22はSTEP2として物流センター開設、物流ルート削減予定



# 収益構造の改善～北米・中南米～

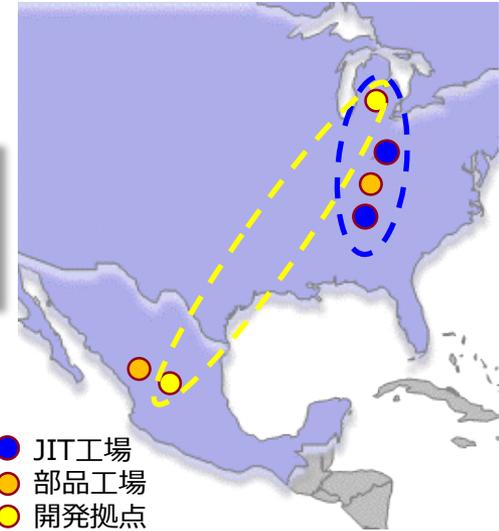
開発機能、管理機能の統合による効率化及びビジネス拡大に向けた提案活動強化

## 北米1)-④ 機能最適化

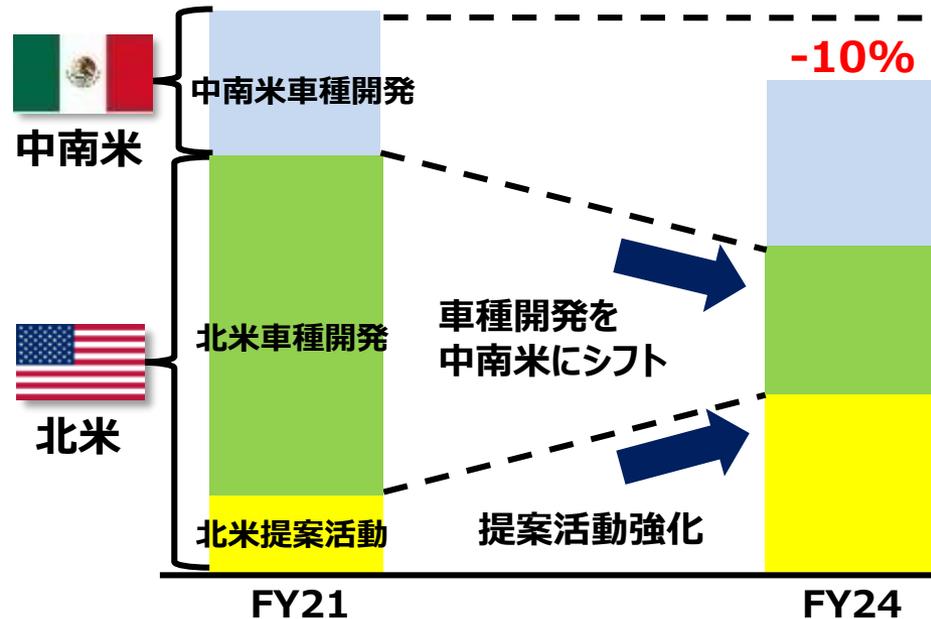
### 北米・中南米の開発機能統合

開発の効率化

ビジネス拡大に向けた提案活動強化  
(エンジニアリングサービス含む)



### 北米・中南米開発費



- 開発体制が整備完了した中南米に北米車種開発の一部を集約して開発機能を効率化
- ビジネスチャンスが広がっている北米は提案活動強化によりビジネス拡大
- 北米・中南米全体の開発費を10%削減

### 管理機能合理化

北米Region内での機能最適化によりSG&A FY21比20%削減(FY24)

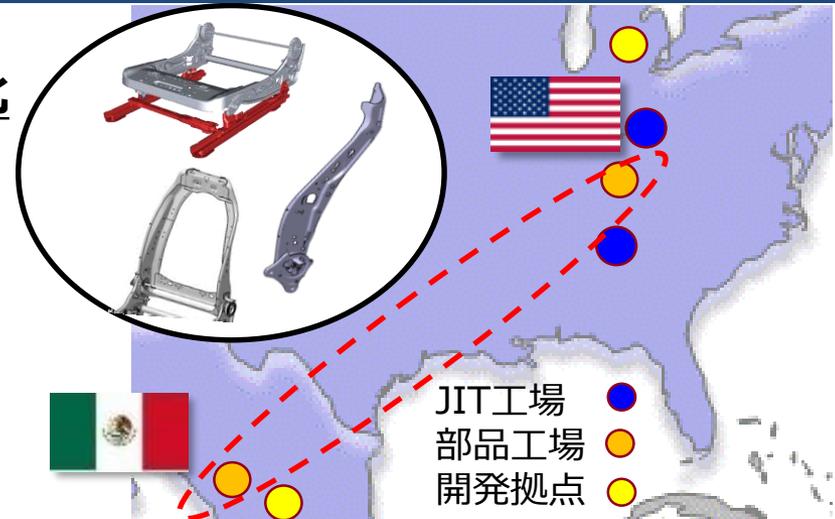
## 北米・中南米部品会社の機能最適化による収益改善

### 北米1)-④ 機能最適化

### 北米・中南米コンポーネント部品会社の工順最適化

北米・中南米で各々コンポーネント部品生産機能を保有

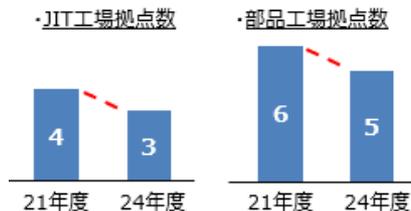
⇒北米・中南米コンポーネント部品会社の工順の最適化と活用方法を検討



## 工場再編、固定費削減、物流費低減を計画通り実行中

### 中南米1)-①②③ 工場再編、固定費削減、物流効率化

#### ①工場再編



#### ②固定費削減

- ・組織の見直しにより、postの17%削減
- ・Headcountの最適化により16%削減

#### ③物流効率化

- ・ミルクラン(巡回集荷)による輸送効率UP
- ・輸送時部品圧縮による積載効率UP
- ・トラックサイズの適正化による積載効率UP

FY21実績

- ・JIT1工場閉鎖
- ・部品1工場をJIT工場へ統合完了

- ・post数を計画通り17%削減
- ・Headcount(人員数)予定通り16%削減

- ・24年度削減目標計画に対して90%の活動が完了

## 共通化・現地化・内製化・合理化・工程/品質改善による原価低減活動の実施

### 2)モノづくり強化によるコスト低減

#### ①フレーム構造の共通化/②部品現地化

共通フレームに搭載されているコア部品である機構部品、電装部品の現地化を推進

リクライナ

スライド

モーター



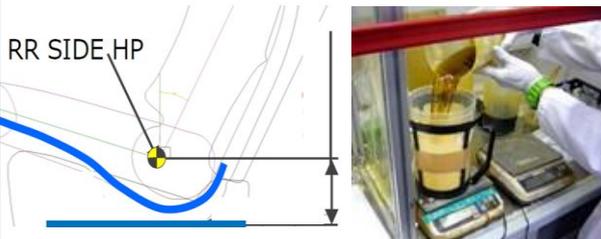
中国、メキシコでの現地化

現地サプライヤー発掘

⇒共通フレームの競争力向上によるグローバル採用の拡大

#### ③内製化促進

ウレタン配合の自社開発により付加価値向上



EV化/  
快適性の追求

薄型ウレタン配合の自社開発

#### ④購入品合理化

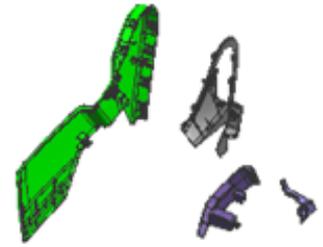
技術的な原価低減活動の実施



類似締結部品

締結部品の種類削減

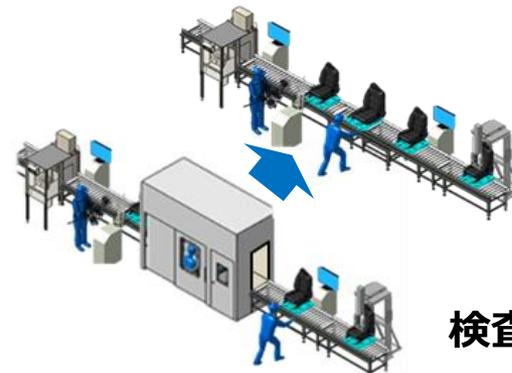
統合



樹脂部品の  
低コスト材料化

#### ⑤工程、品質改善

自工程完結によるモノづくりの徹底



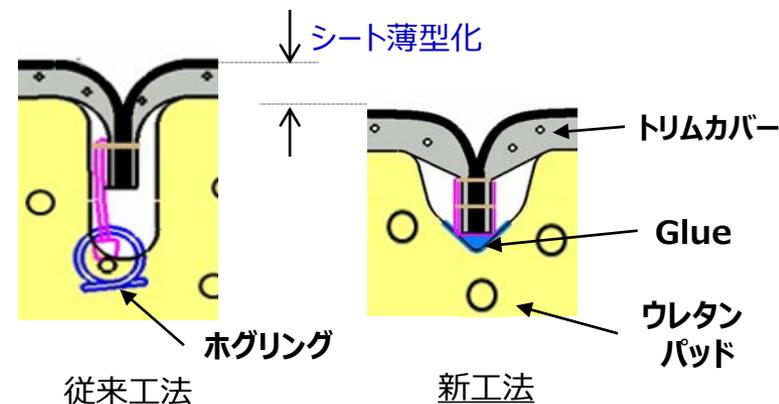
検査工程効率化

## 「共通フレームの適用拡大」、「トリムカバー組付け技術開発」、「AI外観検査」による深化

### 共通フレームの適用拡大



### トリムカバー組付け技術開発



- ・複雑なデザインへの対応
- ・座り心地性能向上
- ・ウレタンパッド薄肉化・軽量化によるEV化対応
- ・作業者の負担が少ない組付け工法

### AI外観検査



人で行っている外観検査をAIで判断することで  
無人検査化による省人化、品質安定化

シートを中心とした空間価値を追求し、必要なシステム制御技術を開発中

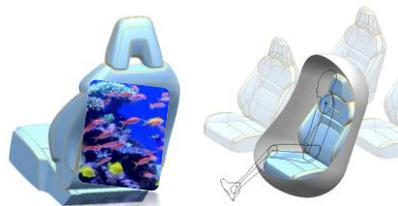
“座る”を追求し人と地球を支える

## 空間プロデューサー

### クルマでの体験価値



### AI(愛)するシート



リラックス・刺激 プライベート

## シートを中心とした空間価値



### 移動マイルーム コンセプト

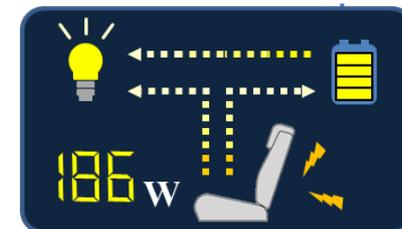


### オールインワンシート コンセプト

## モビリティの新たな価値



### 健康になる



地球環境に貢献する

車室内空間・体験価値を具現化するシステム制御技術  
(外部との共同開発)



+



+

動作



タチエスの強みを活かしオープンイノベーションで新領域開拓に向け活動中

## “座る”を追求し人と地球を支える

### オープンイノベーションで推進

- 安心・安全：  
シニアサポート、  
パーソナルモビリティ



- 癒し・居心地よい：  
マインドフルネス領域  
への提案



- 快適、自分らしさ：  
ニューノーマル世界の  
快適空間



- サステナブル・社会課題：  
女性活躍応援



### タチエスの強みを生かし、新領域へ

コア技術：骨格強度設計、ウレタン発泡、モデリング  
機構設計、座り心地開発、縫製技術

基盤技術：構造力学、高分子材料、CAE/CAD、材料力学、  
機構力学、感性・官能評価データ解析

# 3つのシンカ～土台の構築、DX～

## 全社教育によるデジタル人財の育成とDATAで繋がるモノづくり活動

21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
DXの基盤構築 (デジタイゼーション/デジタル化)				DXによる価値創出 (デジタルイゼーション/デジタルトランスフォーメーション)					

### デジタル人財の育成 **デジタイゼーション**

#### <全社教育>

全社でDXを進める為に全社教育を継続的に実施  
→プログラミングコンテンツも取り入れ自己変革

#### <デジタイゼーションに向けた実践トレーニング>

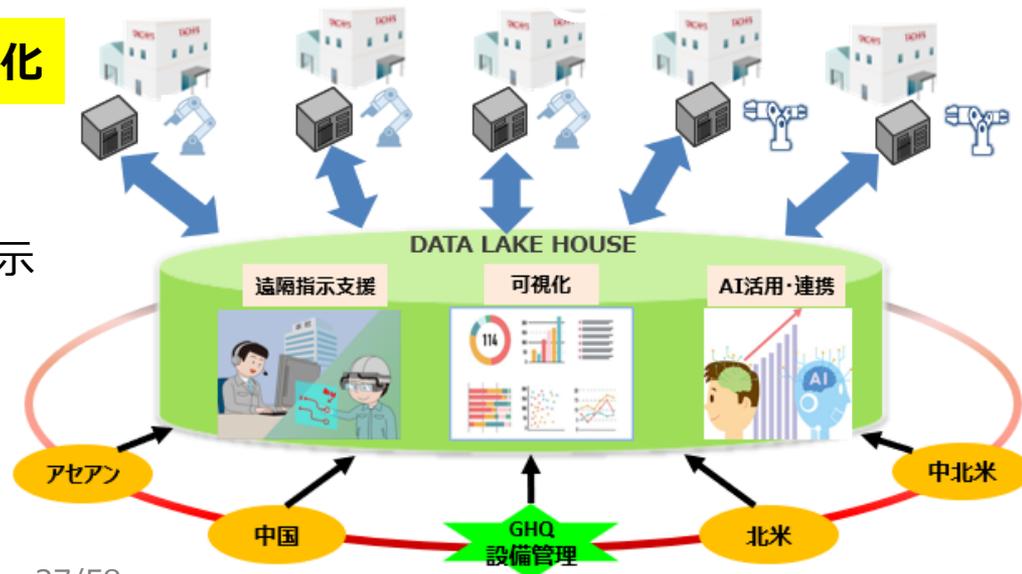
DX推進チームを中心にITツールを駆使しながらデジタイゼーション



### 設備管理システムによる集中管理 **デジタル化** (23年度運用開始予定)

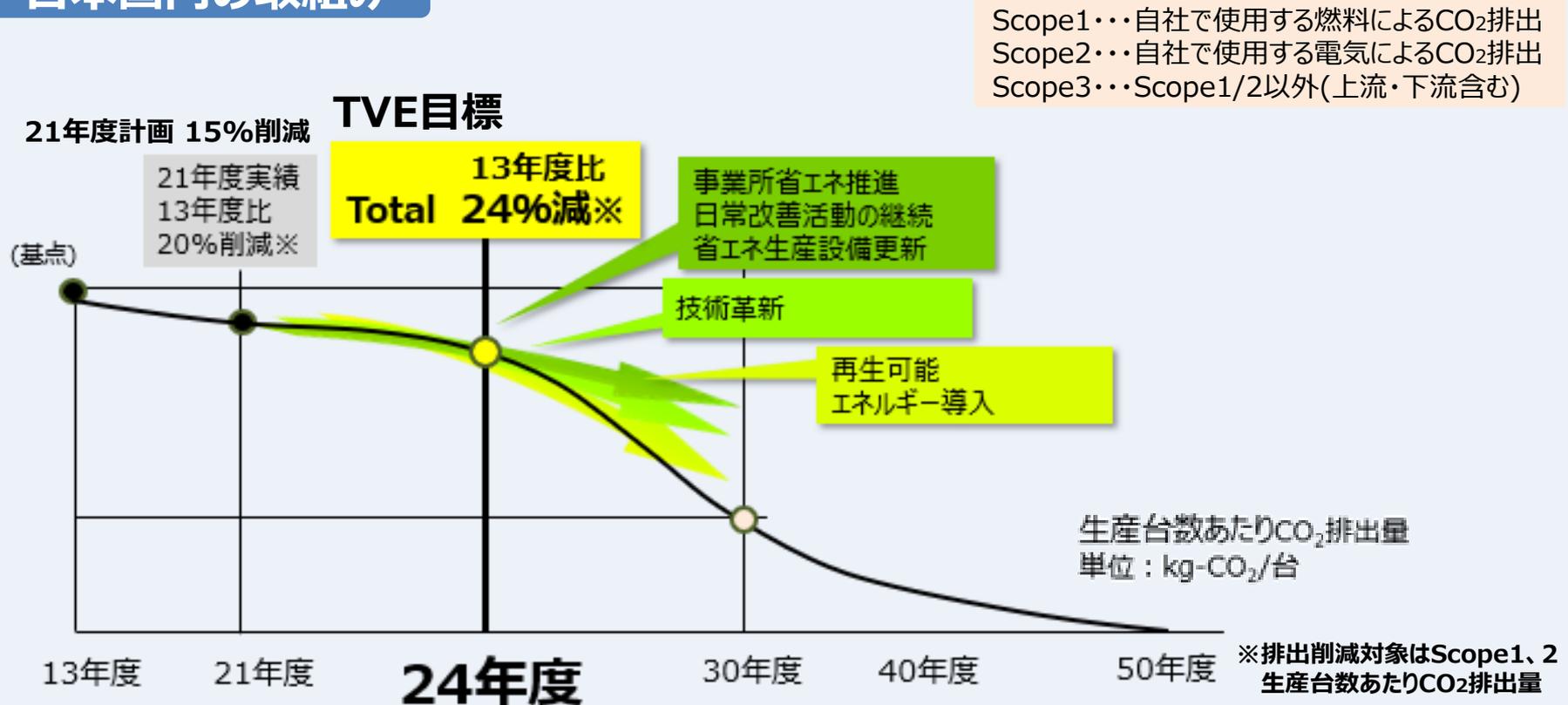
#### <グローバル設備監視>

- ・どこにいても生産状態が把握でき、遠隔で作業指示
- ・設備保全の予知化



FY21はCO<sub>2</sub>排出量20%を削減(13年度比)  
グループ会社を含めたグローバルで目標値設定を推進

## 日本国内の取組み



## グローバル目標

TCFDリスク分析や各国政府目標を考慮して22年度内に設定予定

## 省エネ推進、再生可能エネルギー導入、技術革新活動への取組み

### ① 省エネ推進

待機電力可視化により、  
使用電力のムダを削減

### ② 再生可能エネルギー導入

2拠点導入済み  
FY22は4拠点導入予定

#### 上流 scope3



#### 自社 scope2



#### 下流 scope3



### ③ 技術革新活動

- ・リサイクル樹脂や植物由来原料を使用した樹脂部品の適用を検討
- ・軽量化への取組みを促進
  - フレーム薄板化
  - リアフレーム構造の簡素化

2022年3月期の実績

2023年3月期の見通し

## 中期経営計画(TVE※)の進捗

- 事業戦略
- **財務・資本戦略**
- コーポレートガバナンス

株主還元

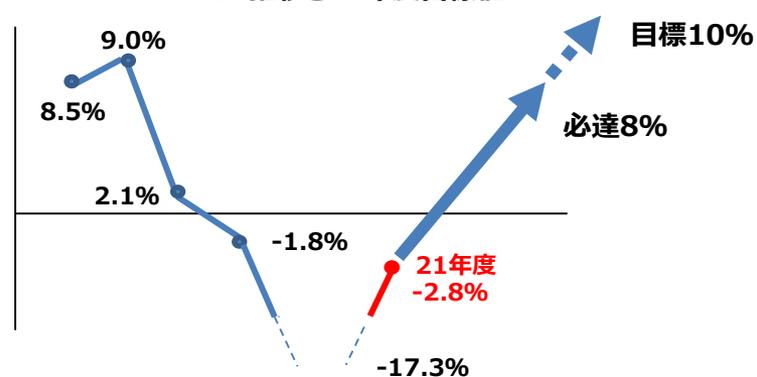
## ROE 21年度実績 -2.8%

- 収益構造改善は進捗するも、売上高減少により、**営業損益が当初想定以上に悪化**
- 工場再編に伴い**平塚工場の売却を実施**
- 会社方針に則り**政策保有株式縮減を実施**
- 21年度配当は**予定通りDOE 3%で実行**

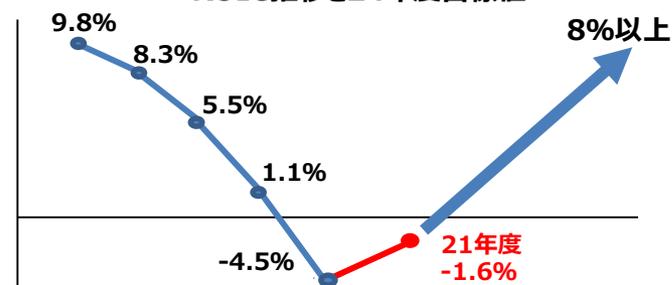
## ROIC 21年度実績 -1.6%

- 収益構造改善は進捗するも、売上高減少により、**営業損益が当初想定以上に悪化**
- 持分法適用会社の業績は**3億円改善**
- 投下資本においてD/Eレシオは 20年度の0.23倍→0.32倍と**有利子負債の比率を増加**

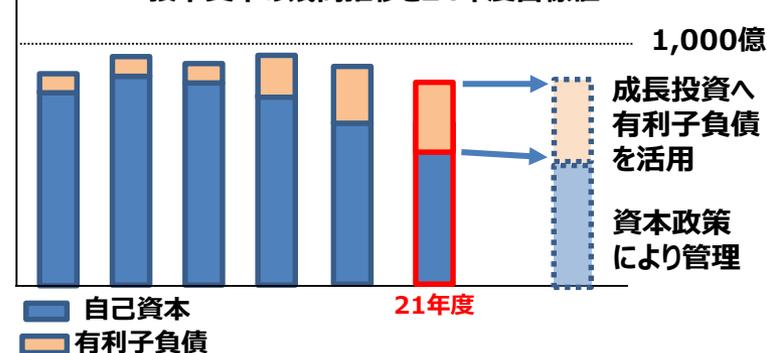
ROE推移と24年度目標値



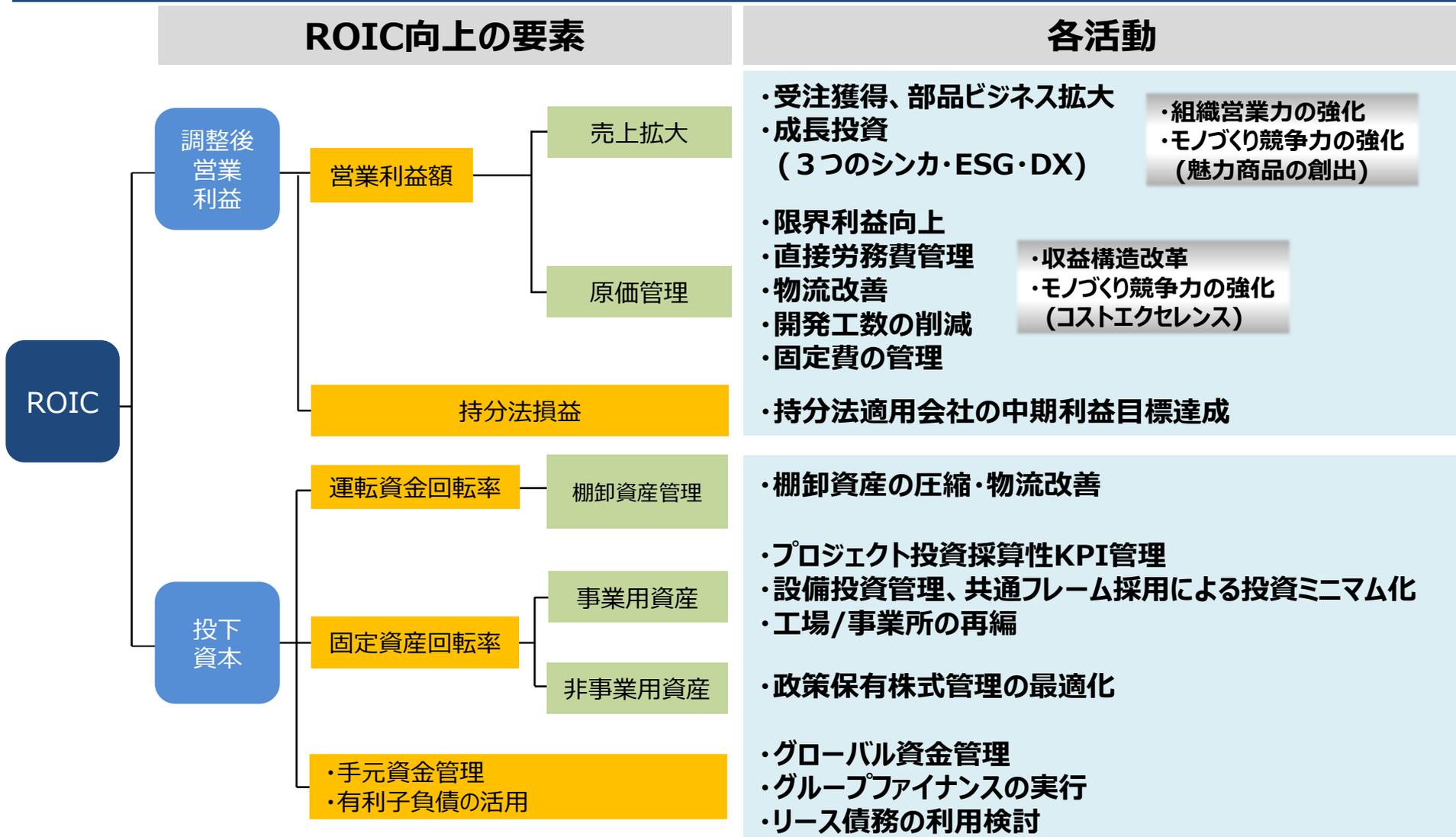
ROIC推移と24年度目標値



投下資本の残高推移と24年度目標値



ROIC向上の要素と各活動を結びつけ、資本コストを意識した経営の浸透を図り、資本効率向上を促進する



2022年3月期の実績

2023年3月期の見通し

## 中期経営計画(TVE※)の進捗

- 事業戦略
- 財務・資本戦略
- コーポレートガバナンス

株主還元

## ガバナンス上の課題への対応

## CG報告書Explain 7項目

原則・ 補充原則	項目	対応
2-3①	サステナビリティを巡る課題への積極的・能動的な対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 取締役会でのサステナビリティへの取組みの基本方針策定                             <ul style="list-style-type: none"> <li>● 現行「CSRの考え方」の内容についてサステナビリティ観点からの見直し実施</li> <li>● 下記取組において、適切な経営資源の分配を行うよう取締役会で論議・監督を行う</li> </ul> </li> </ul>
3-1③	サステナビリティへの取組みの開示	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ サステナビリティの課題対応とその取組み                             <ul style="list-style-type: none"> <li>● ESG推進室を新設し、ESG活動を推進（22年4月）</li> <li>● TCFD提言への賛同を表明（22年5月）</li> <li>● ESG推進会議において以下のリスクと収益機会の洗い出しを実施                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 環境領域</li> <li>✓ 人財活用</li> <li>✓ 持続的な社会維持</li> </ul> </li> <li>● ESG推進会議の活動内容、リスクマネジメント委員会の活動内容を取締役会へ報告、取締役会での議論を実施</li> </ul> </li> </ul>
4-2②	取締役会によるサステナビリティへの取組み基本方針の策定	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ESG推進会議の活動内容、リスクマネジメント委員会の活動内容を取締役会へ報告、取締役会での議論を実施</li> </ul>

## ガバナンス上の課題への対応

## CG報告書Explain 7項目

原則・ 補充原則	項目	対応
1-4	政策保有株式	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 自動車部品メーカーとしてグローバル競争を勝ち抜き、今後も持続的に成長していくためには、様々なステークホルダーとの協力関係が不可欠。保有している政策保有株式については、今後、事業のために必要と考えるものは合理的な範囲で保有を継続する一方で、事業の新化や進化に合わせて縮減を含めて保有内容を変更する方針</li> <li>➤ 挑戦目標ROE10%（FY24）を鑑み資産効率性を絶えず意識し、連結純資産の10%未満になるよう管理する</li> </ul>
4-10①	指名・報酬等に関する独立社外取締役の関与・助言	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 人事報酬委員会メンバーの過半数を社外取締役にする（22年6月）</li> <li>➤ 委員長を社外取締役が担う構成に変更（23年6月）</li> </ul>
4-11	取締役会・監査役会の実効性確保のための前提条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 第三者が関与した取締役会の実効性評価を実施し、22年3月の取締役会で結果と課題を報告し、改善策について議論。順次改善を開始</li> </ul>
4-11①	取締役の有するスキル等の組み合せの開示	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ スキルマトリックスを人事報酬委員会の審議を経て決定</li> <li>➤ 22年6月の定時株主総会招集通知（事業報告）より開示</li> </ul>

22年6月  
Comply

2022年3月期の実績

2023年3月期の見通し

中期経営計画(TVE※)の進捗

- 事業戦略
- 財務・資本戦略
- コーポレートガバナンス

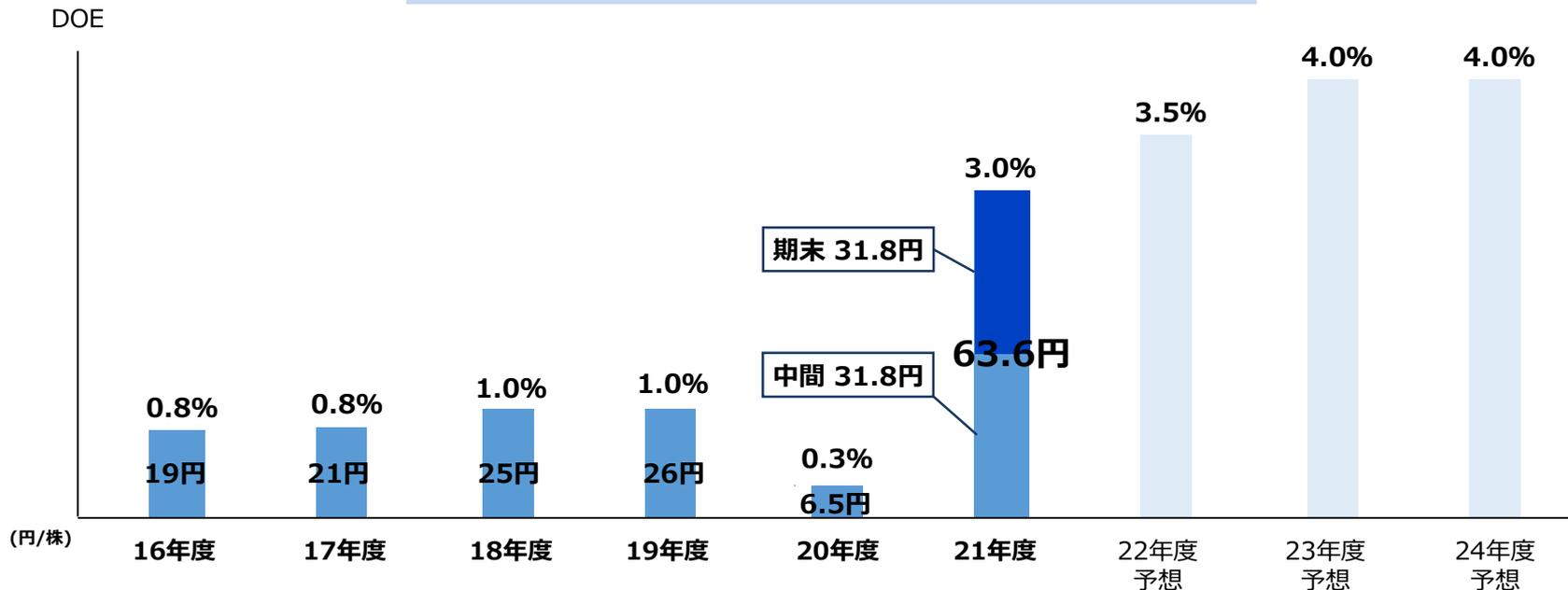
**株主還元**

配当：21年度～24年度 DOE\* 3～4%

\*Dividend on Equity Ratio (連結自己資本配当率)

- 主たる配当の財務指標としてDOEを採用
- キャッシュフロー、中長期的に健全な財務基盤の維持などを総合的に勘案し、積極的な株主還元を実施

過去5カ年のDOE推移と21年度～24年度目標値



“座る”を追求し人と地球を支える

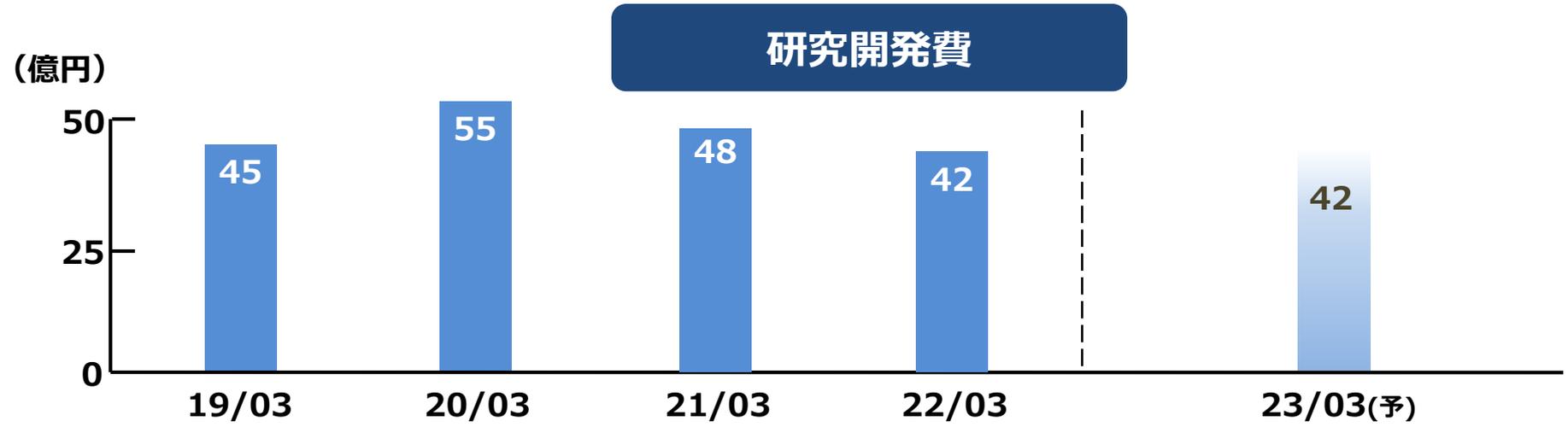
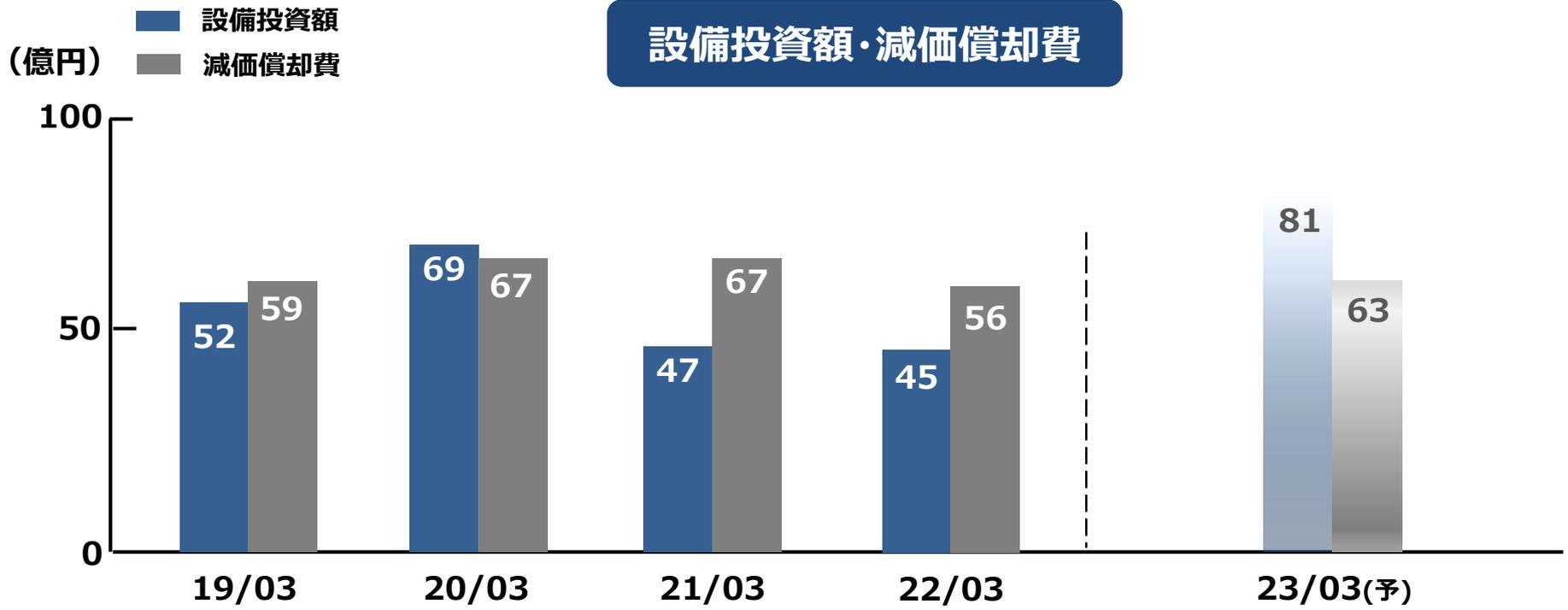


Global Seat System Creator

本資料についてのご注意

本資料に記載されている将来に関する見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、不確実性やリスクを含んでおります。したがって、実際の結果は様々な要因によって見通しと異なる可能性があります。ご承知ください。

# Appendix



# 21年度 新規・マイナーモデルチェンジ立ち上げ車種



	2021年									2022年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
Japan		VANETTE (M) 				GT-R (M)			ARIYA			
		DUTRO (M)				DYNA (M)			FAIRLADY Z(M)		HINO EV (M)	
									OUTLANDER			
Americas						FRONTIER (FRAME)						
China				X-TRAIL							高級SUV	
									SYLPHY E-POWER FRM			
												e:NS1

●NISSAN ●HONDA/ACURA ●MITSUBISHI ●Toyota/Hino ●OTHER

(M) : マイナーチェンジ Model Year

## 日産自動車 向け ARIYA 用シート



生産開始：2021年11月  
生産拠点：栃木オンサイト工場



## 東風本田汽車有限公司 向け e:NS1 用シート



生産開始：2022年3月  
生産会社：武漢東風泰極愛思延鋒汽車座椅有限公司※



※2022年4月より社名変更  
旧社名:武漢東風泰極愛思安道拓汽車座椅有限公司

# お客様からの受賞

お客様からの品質受賞 グループ一丸となった品質向上への取り組み

NISSAN様より



Japan Regional Quality Award

2年連続



株式会社タチエス



China Regional Quality Award



襄陽東風李爾泰極愛思汽車座椅有限公司



優秀サプライヤー賞



ベスト・サプライヤー賞



Regional Quality Award Finalist



鄭州泰新汽車內飾件有限公司



鄭州東風李爾泰新汽車座椅有限公司

3年連続



TACHI-S Automotive Seating (Thailand) Co., Ltd.

# お客様からの受賞

お客様からの品質受賞 グループ一丸となった品質向上への取り組み

HONDA様より

Excellence in Delivery and Quality Award



3年連続



SETEX Automotive Mexico, S.A. DE C.V.

广汽三菱様より

品質保証賞



2年連続



湖南泰極愛思汽車座椅有限公司

# 各リージョンの取り組み（地域社会貢献活動）



自動車用シートカバーのモノづくりで培った  
経験を活用し医療用エプロンを寄贈



Nui Tec Corporation



国内3大学へ  
エンジニアリング分野の学生向けに  
溶接ロボット4台を寄贈



TACHI-S Mexico



地域の子どもたちにプレゼントを寄付  
クリスマスキャンペーンを実施



TACHI-S Brasil



社会における生活困窮者へ  
食糧や学習の支援を提供



広州泰李汽車座椅有限公司

# 各リージョンの取り組み（拠点の順調な発展）

## 30周年

 TACHI-S Mexico



## 20周年

 TechnoTrim, Inc. (メキシコMonclova工場)

 鄭州泰新汽車內飾件有限公司



## 10周年

 泰極愛思（中国）投資有限公司

 鄭州東風李爾泰新汽車座椅有限公司

 浙江富昌泰汽車零部件有限公司

 TACHI-S (Thailand) Co., Ltd.



# 為替の推移

(単位：円)

	19/03	20/03	21/03	22/03	23/03(予)
USD	109.18	109.13	105.79	112.06	125.00
MXN	5.73	5.65	5.02	5.38	6.00
EUR	122.00	121.27	123.22	130.54	136.50
RMB	16.31	15.86	15.41	16.94	19.00

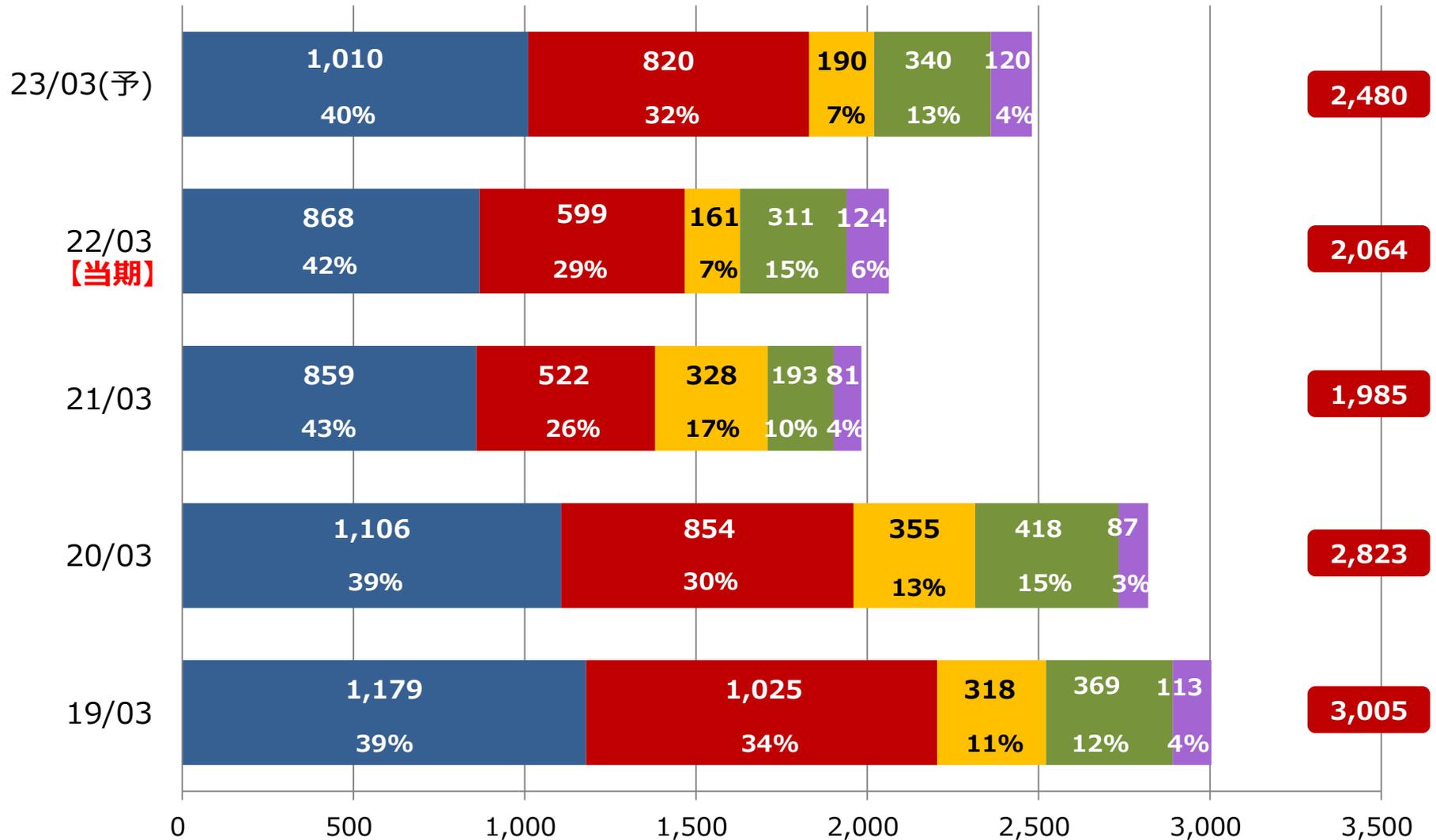
# 売上高の推移 圏別売上高（連結）



## 通期推移

(単位：億円)

■ ホンダ圏 ■ 日産圏 ■ トヨタ圏 ■ 三菱圏 ■ その他

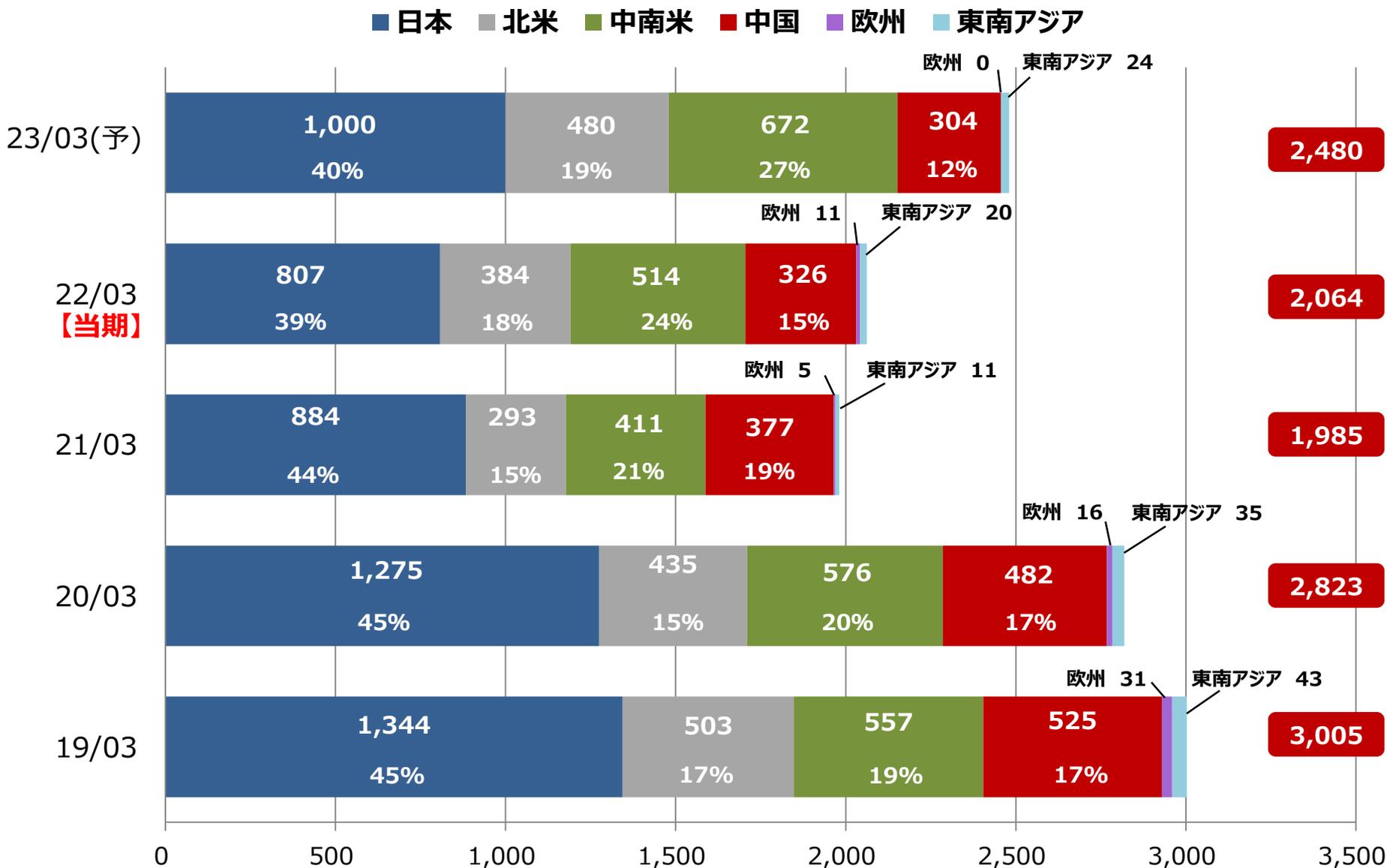


# 売上高の推移 所在地別売上高（連結）



## 通期推移

（単位：億円）

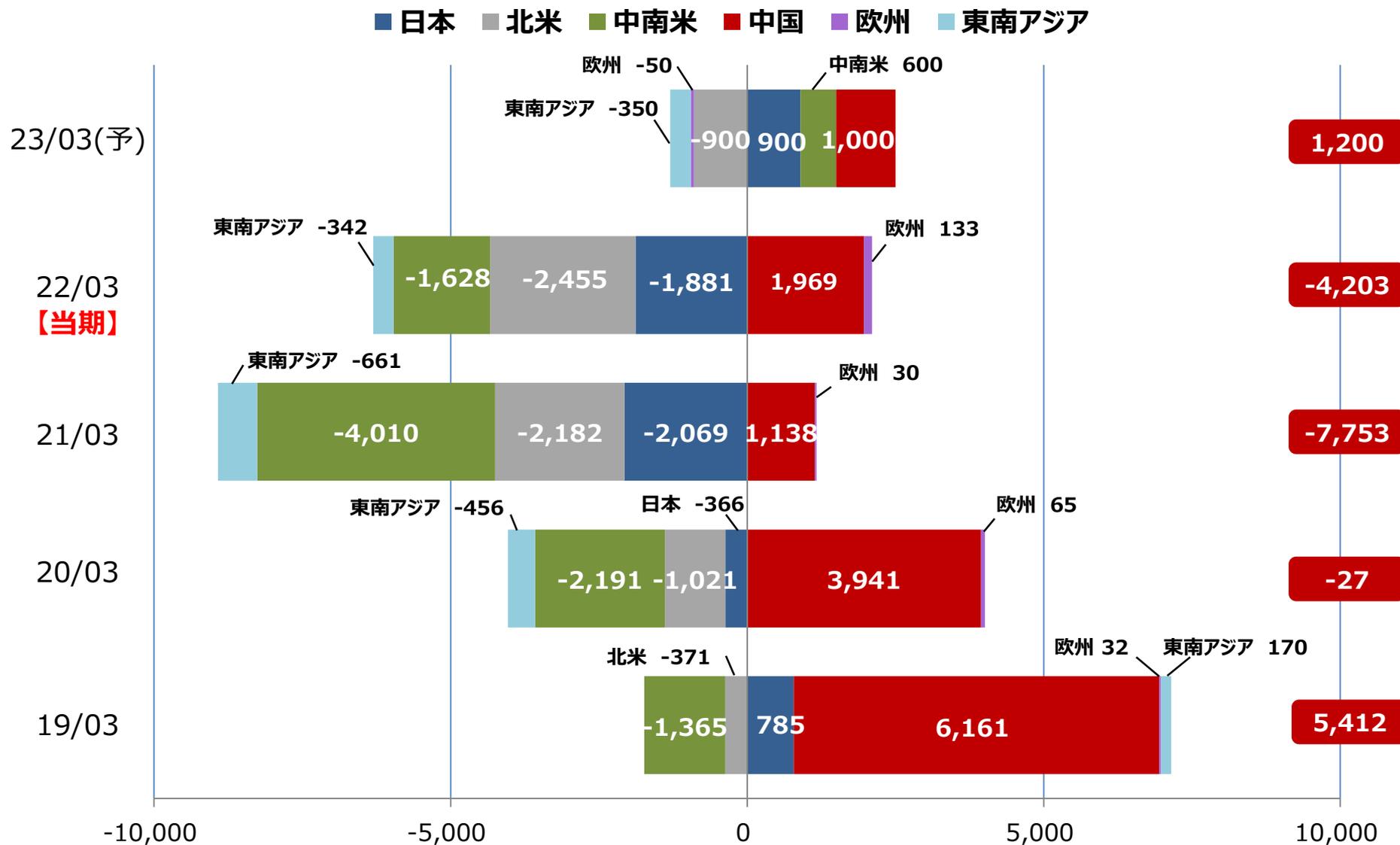


# 利益の推移 所在地別営業利益（連結）



## 通期推移

(単位：百万円)

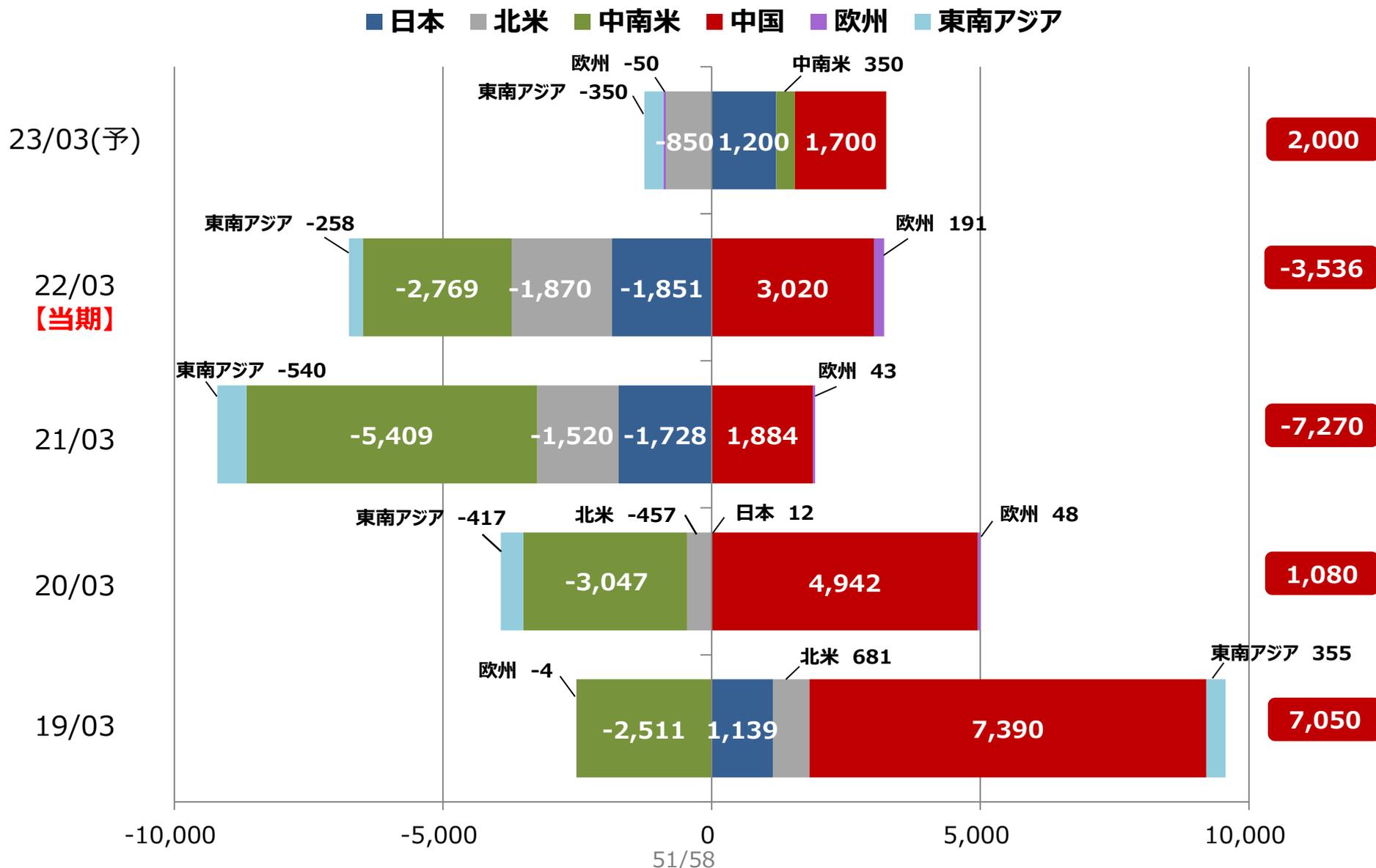


# 利益の推移 所在地別経常利益（連結）



## 通期推移

(単位：百万円)



# 事業所一覧（日本）

22年3月31日時点

拠点	開設年月	所在地	業務内容	主な納入先
本社	1954年 4月	東京都昭島市	本社機能	
技術・モノづくりセンター	2012年 4月	東京都青梅市	営業・調達・設計・開発・ 実験・生産・品質等技術全般	
技術センター愛知	1999年 8月	愛知県安城市	営業・調達・設計・開発	
愛知工場	1977年 4月	愛知県安城市	自動車座席・座席部品の製造	トヨタ、三菱、トヨタ紡織
武蔵工場	1980年 1月	埼玉県入間市	自動車座席・座席部品の製造	ホンダ
青梅工場	1969年 4月	東京都青梅市	試作 自動車座席・座席部品の製造	日野、トヨタ紡織、UDトラックス、 トヨタ自動車東日本
栃木工場	1982年 2月	栃木県下野市	自動車座席・座席部品の製造	日産、日本発条、日野
平塚工場	1982年 7月	神奈川県平塚市	自動車座席・座席部品の製造	日産車体
鈴鹿工場	1984年10月	三重県鈴鹿市	自動車座席の製造	ホンダ

# 関係会社一覧（日本）



会社名	設立年月	所在地	主な事業内容	出資比率	資本金	主な納入先	連結範囲
株式会社TF-METAL	2017年 5月	静岡県 湖西市	自動車座席部品の 開発、製造、販売	100.0%	百万円 50	タチエス、アディエント、 スズキ	連結 子会社
株式会社Nui Tec Corporation	2006年 7月	東京都 青梅市	自動車座席用 縫製部品の製造、販売	100.0%	百万円 325	タチエス トヨタ紡織東北	連結 子会社
株式会社タチエスH&P	1961年 4月	東京都 青梅市	各種バネ・自動車等 座席部品・医療用 ベッドの製造、販売	100.0%	百万円 40	タチエス、 TF-METAL、 自動車関連以外	連結 子会社
錦陵工業株式会社	1976年 2月	福岡県 京都郡	自動車座席・ 座席部品の製造、販売	25.0%	百万円 100	タチエス、アディエント	連結 関連会社
株式会社 TF-METAL磐田	1986年 10月	静岡県 磐田市	自動車座席部品の 製造、販売	(100.0%)	百万円 15	TF-METAL、 日本発条	連結 子会社
株式会社 TF-METAL九州	1985年 7月	大分県 中津市	自動車座席部品の 製造、販売	(100.0%)	百万円 10	TF-METAL、 富士機工	連結 子会社
株式会社 TF-METAL東三河	1986年 10月	愛知県 新城市	自動車座席部品の 製造	(100.0%)	百万円 10	TF-METAL	連結 子会社

※ 非連結子会社： タチエスサービス株式会社

連結子会社 6 社 連結関連会社 1 社 非連結子会社 1 社

# 関係会社一覧（北米）



会社名	設立年月	所在地	主な事業内容	出資比率	資本金	主な納入先	連結範囲
TACHI-S Engineering U.S.A., Inc.	1986年7月	米国 ミシガン州	北米における 営業、開発業務及び 統括管理	100.0%	百万USD 43		連結 子会社
TF-METAL Americas Corporation	2000年7月	米国 ミシガン州	米州における 統括管理、開発	(100.0%)	百万USD 0		連結 子会社
SETEX, Inc.	1987年9月	米国 オハイオ州	自動車座席の 製造、販売	(51.0%)	百万USD 5	米国ホンダ アディエント	連結 子会社
TACHI-S Automotive Seating U.S.A., LLC	2005年12月	米国 テネシー州	自動車座席の 製造、販売	(100.0%)	百万USD 22	北米日産	連結 子会社
TechnoTrim, Inc.	1986年11月	米国 ミシガン州	自動車座席用 縫製部品の製造、販売	(49.0%)	百万USD 0	北米主要 シートメーカー	連結 関連会社
TF-METAL U.S.A., LLC	2004年3月	米国 ケンタッキー州	自動車座席部品の 製造、販売	(100.0%)	百万USD 10	TAS-U.S.A.、 TSM、 アディエント	連結 子会社
TACHI-S Canada, Ltd.	2004年9月	カナダ ノバスコシア州	カナダにおける統括管理	(100.0%)	百万CAD 12		連結 子会社

( ) は間接所有を含む

連結子会社 6 社 連結関連会社 1 社

# 関係会社一覧（中南米・欧州）



会社名	設立年月	所在地	主な事業内容	出資比率	資本金	主な納入先	連結範囲
TACHI-S Engineering Latin America, S.A. de C.V.	2012年 5月	メキシコ アグアス カリエンテス州	中南米における 開発業務及び 統括管理	(100.0%)	百万MXN 2,184		連結 子会社
Industria de Asiento Superior, S.A. de C.V. (TACHI-S Mexico)	1991年 4月	メキシコ アグアス カリエンテス州	自動車座席・座席 部品の製造、販売	(100.0%)	百万USD 26	メキシコ日産	連結 子会社
SETEX Automotive Mexico, S.A. de C.V.	2012年 9月	メキシコ グアナファト州	自動車座席の 製造、販売	(95.0%)	百万USD 24	メキシコホンダ	連結 子会社
TF-METAL Mexico, S.A. de C.V.	2012年 6月	メキシコ アグアス カリエンテス州	自動車座席部品の 製造、販売	(100.0%)	百万USD 27	TSM、 TF-METAL U.S.A. フォーレシア	連結 子会社
TACHI-S Brasil Industria de Assentos Automotivos Ltda.	2012年 8月	ブラジル リオデジャネイロ 州	自動車座席の 製造、販売	(100.0%)	百万BRL 275	ブラジル日産 ルノーブラジル	連結 子会社
TACHI-S Engineering Europe S.A.R.L.	2004年 10月	フランス ムードン・ラ・ フォレ市	欧州における営業、 開発業務及び 自動車座席部品の 製造、販売	100.0%	百万 EUR 23	アディエント、マグナ スペイン日産	連結 子会社

( ) は間接所有を含む

# 関係会社一覧（中国-1）



会社名	設立年月	所在地	主な事業内容	出資比率	資本金	主な納入先	連結範囲
泰極愛思（中国）投資有限公司	2011年10月	中国 広東省	中国における営業、開発業務及び統括管理	100.0%	百万RMB 259		連結子会社
泰極愛思（鄭州）汽車座椅研発有限公司	2015年12月	中国 河南省	中国における開発業務	(100.0%)	百万RMB 75		持分法適用の非連結子会社
広州泰李汽車座椅有限公司	2004年11月	中国 広東省	自動車座席の製造、販売	51.0%	百万RMB 66	東風日産	連結子会社
湖南泰極愛思汽車座椅有限公司	2012年7月	中国 湖南省	自動車座席の製造、販売	(51.0%)	百万RMB 40	広汽三菱汽車	連結子会社
襄陽東風李爾泰極愛思汽車座椅有限公司	2013年7月	中国 湖北省	自動車座席の製造、販売	(51.0%)	百万RMB 30	東風日産	連結子会社
鄭州泰新汽車内飾件有限公司	2001年7月	中国 河南省	自動車座席の製造、販売	50.0%	百万RMB 11	奇瑞汽車 鄭州日産 鄭州東風李爾	連結関連会社
武漢東風泰極愛思安道拓汽車座椅有限公司	2008年6月	中国 湖北省	自動車座席の製造、販売	50.0%	百万RMB 43	東風本田	連結子会社
大連東風李爾泰極愛思汽車座椅有限公司	2013年8月	中国 遼寧省	自動車座席の製造、販売	(49.0%)	百万RMB 50	東風日産	連結関連会社
鄭州泰之新汽車座椅有限公司	2019年6月	中国 河南省	自動車座席、座席部品の製造、販売	(49.0%)	百万RMB 90		非連結関連会社

（ ）は間接所有を含む

連結子会社 5社

連結関連会社 2社

持分法適用の非連結子会社 1社

非連結関連会社 1社

# 関係会社一覧（中国-2）

会社名	設立年月	所在地	主な事業内容	出資比率	資本金	主な納入先	連結範囲
武漢東実李爾泰極愛思汽車座椅有限公司	2019年11月	中国湖北省	自動車座席の製造、販売	(34.0%)	百万RMB 50	東風日産	非連結関連会社
泰極（広州）汽車内飾有限公司	2005年9月	中国広東省	自動車座席用縫製部品の製造、販売	100.0%	百万RMB 38	夕チエス 広州泰李	連結子会社
泰極愛思（武漢）汽車内飾有限公司	2013年10月	中国湖北省	自動車座席用縫製部品の製造、販売	(100.0%)	百万RMB 35	武漢東泰安、 襄陽東風李爾	連結子会社
浙江泰極愛思汽車部件有限公司	2012年1月	中国浙江省	自動車座席用フレーム部品の製造、販売	(82.8%)	百万RMB 142	夕チエス、 TSE-E、 TAS-U.S.A.	連結子会社
広州泰昌汽車部件有限公司	2005年1月	中国広東省	自動車座席部品の製造、販売	(85.0%)	百万RMB 40	広州泰李、 TF-METAL、 広州テイ・イス テック	連結子会社
浙江泰極信汽車部件有限公司	2019年12月	中国浙江省	自動車座席部品の製造、販売	(82.8%)	百万RMB 251	夕チエス	連結子会社
浙江富昌泰汽車零部件有限公司	2011年3月	中国浙江省	自動車座席部品の製造、販売	(82.8%)	百万RMB 109	浙江泰極愛思、 TSE-E、 TAS-タイ	連結子会社

（ ）は間接所有を含む

# 関係会社一覧（東南アジア）



会社名	設立年月	所在地	主な事業内容	出資比率	資本金	主な納入先	連結範囲
TACHI-S (Thailand) Co., Ltd.	2011年 9月	タイ バンコク都	東南アジア、インドにおける統括管理	100.0%	百万THB 771		連結 子会社
TACHI-S Automotive Seating (Thailand) Co., Ltd.	2010年 4月	タイ バンコク都	自動車座席・座席部品の製造、販売	100.0%	百万THB 153	タイ日産 タイ三菱	連結 子会社
TACHI-S Engineering Vietnam Co., Ltd.	2013年 1月	ベトナム ホーチミン市	ベトナムにおける開発業務	100.0%	百万VND 31,026		非連結 子会社
APM TACHI-S Seating Systems Vietnam Co., Ltd.	2016年 11月	ベトナム ダナン市	自動車座席の製造、販売	(51.0%)	百万VND 56,567	TCIE ベトナム社	非連結 子会社
APM TACHI-S Seating Systems Sdn. Bhd.	2013年 2月	マレーシア スランゴール州	自動車座席の製造、販売	(49.0%)	百万MYR 5	タンチョンモーター アッセンブリーズ、 ミツビシモーターズ マレーシア	非連結 関連会社

( ) は間接所有を含む

連結子会社 2社

非連結子会社 2社

非連結関連会社 1社